

授業科目	卒業制作	講義	実技	演習	単位時間416 単位26	前期	後期
教科担当	高橋先生 瀧田先生 井上先生 間瀬先生 岡本佳代先生 小野先生						
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科 2年	担任	瀧田龍晃				
授業の概要	テーマに即した作品制作を通し、2年間の学修の集大成とする。「発想」「コンセプトメイキング」を重視した作品制作。コンペ作品に積極的に挑戦させる(必須課題と選択課題で構成)						
学修内容 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個々のアイデアとラフデザインの制作 2. 指導教員によるラフ段階のチェック及び指導 3. 卒業制作ステップ1 デザインボードの制作 4. 卒業制作ステップ1 デザインボードの制作 5. 卒業制作ステップ1 デザインボードの制作 6. 卒業制作ステップ1 デザインボードの制作 7. 中間審査 プレゼンテーションスタイルにて発表 8. 卒業制作ステップ2 デザインボードの修正及び制作 9. 卒業制作ステップ2 デザインボードの修正及び制作 10. 卒業制作ステップ2 デザインボードの修正及び制作 11. 卒業制作ステップ2 デザインボードの修正及び制作 12. 卒業制作ステップ2 デザインボードの修正及び制作 13. 最終講評 プレゼンテーションスタイルにて発表 14. 卒業制作ステップ3 最終修正 15. プレゼンボード 印刷 パネル加工 16. 展示方法の検討 及び 付帯展示物の制作 17. 展示方法の検討 及び 付帯展示物の制作 						
使用テキスト 教材等	B2アートボード (貼パネ)を各自の展示分用意。 大型出力する。						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができていない【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点~90点=S、89点~80点=A、79点~70点=B、69点~60点=C、60点未満=D(不合格)とする。						
履修にあたっての 留意点	各プロセスにおいて指導教員と密にコミュニケーションをはかり、指導を受ける事。						

授業科目	プレゼンテーション	講義	実技	演習	単位時間32-単位2 単位時間64-単位4 単位時間96-単位6	前期	後期
教科担当	井上 誠	実務経験		グラフィックデザイナー			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン2年	担任		瀧田 龍晃			
授業の概要	<p>企画職に必須な能力であるプレゼンテーション技術を基礎から応用に至るまで学ぶ。企画の視覚化とコミュニケーション技術(発表)に大別し方法論やポイントを学ぶ。実際、各自の卒業制作における企画デザインの内容とリンクして同時進行でプレゼン技術を磨く。講義前半は知識や方法論を学ばせ。後半は演習としてプレゼンテーション発表の場を設け個別指導する。それに伴いパワーポイントの使用例やボードデザインのレイアウトを学ぶ。自身が卒業制作で手掛ける企画デザインの進捗状況と最終発表をプレゼンテーションの時間を設け講評する。</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーションの原則を学ぶ。 2. 企画案の視覚化。パワーポイントの活用を学ぶ。 3. テーマの明確化について学ぶ。 4. パワーポイントのページ構成方法を学ぶ。 5. 質疑応答のポイント 上手な話し方のコツを学ぶ。 6. 問題意識の共有とは何かを学ぶ。 7. パワーポイント企画書指導 実践方法を学ぶ。 8. ロールプレイング式会議 実践方法を学ぶ。 9. 個別プレゼン発表指導 1 実践演習 10. 個別プレゼン発表指導 2 実践演習 11. 卒制用プレゼン指導 1 個別指導 12. 卒制用プレゼン指導 2 個別指導 13. 企画デザインボード作成指導 1 個別指導 14. 企画デザインボード作成指導 2 個別指導 15. 企画デザインボード作成指導 3 個別指導 16. プレゼンテーション&講評指導 						
使用テキスト 教材等	担当者が作成したレジメ						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。 採点基準は、100点~90点=S、89点~80点=A、79点~70点=B、69点~60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	<p>実践練習によるプレゼンテーション能力の強化。 日常的にコミュニケーション能力やマナーを身に付ける。 企画職として必須な能力向上のため意欲的に取り組む事。</p>						

授業科目	ワークショップⅡ	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	間瀬友恵	実務経験		造形作家			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科 2年	担任		瀧田龍晃			
授業の概要	幅広い造形分野の中から、ワークショップ展開を念頭に置いた、企画・提案・運営・の能力を身につける。						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	1. 陶芸 絵付け 2. 陶芸 釉薬塗布 焼成 3. ガラス工芸 ガラスエッチング技法による制作。デザインする。 4. ガラス工芸 ガラスエッチング技法による制作。デザインする。 5. ガラス工芸 ガラスエッチング技法による制作。彫刻する。 6. ガラス工芸 ガラスエッチング技法による制作。彫刻する。 7. ガラス工芸 ガラスエッチング技法による制作。彫刻する。 8. ガラス工芸 ガラスエッチング技法による制作。彫刻する。仕上げ。 9. ファイバーアート 羊毛からフェルトを作る。フェルティングニードル。 10. ファイバーアート 羊毛からフェルトを作る。水フェルト。 11. ファイバーアート 羊毛からフェルトを作る。装飾。 12. ファイバーアート 羊毛からフェルトを作る。仕上げ。 13. 共同作品 同じテーマを持って作品を制作。素材研究。 14. 共同作品 同じテーマを持って作品を制作。素材研究。 15. 共同作品 同じテーマを持って作品を制作。素材研究。 16. 共同作品 同じテーマを持って作品を制作。素材研究。 17.						
使用テキスト 教材等	プリントを配布						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。						
履修にあたっての 留意点	実習で使用するものを必ず持参すること。						

授業科目	企画研究	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	小野 寛和	実務経験		グラフィックデザイナー			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科 2年	担任		瀧田先生			
授業の概要	卒業制作を通じて、制作物の企画・コンセプト・デザイン性が一貫しているか？ 伝えたい対象に意図を伝える事ができるのか？という観点から卒業制作のクオリティを高めていきます。						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	1. 【課題】卒業制作サポート【計画】コンセプトワーク指導 2. 【課題】卒業制作サポート【計画】コンセプトワーク指導 3. 【課題】卒業制作サポート【計画】コンセプトワーク指導 4. 【課題】卒業制作サポート【計画】デザイン指導 5. 【課題】卒業制作サポート【計画】デザイン指導 6. 【課題】卒業制作サポート【計画】デザイン指導 7. 【課題】卒業制作サポート【計画】デザイン指導 8. 【課題】卒業制作サポート【計画】デザイン指導 9. 【課題】卒業制作サポート【計画】デザイン指導 10. 【課題】卒業制作サポート【計画】デザイン指導 11. 【課題】卒業制作サポート【計画】ブラッシュアップ指導 12. 【課題】卒業制作サポート【計画】ブラッシュアップ指導 13. 【課題】卒業制作サポート【計画】ブラッシュアップ指導 14. 【課題】卒業制作サポート【計画】フィニッシュワーク指導 15. 【課題】卒業制作サポート【計画】フィニッシュワーク指導 16. 【課題】卒業制作サポート【計画】フィニッシュワーク指導 17.						
使用テキスト 教材等							
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができていない【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに平常点【20点】を加算して算出する。平常点は、授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。						
履修にあたっての 留意点							